



保育室便り 2月号



三寒四温。暖かな日はお散歩の「春」探しも変化を感じます。

舞鶴公園の梅園では花数も増え、春の香りを見つけました。お日様が当たると暖かい、日陰は寒い、影が消えるなど言葉に出して確認すると、お散歩も発見の連続でした。お部屋では節分の始まりが書かれた紙芝居の読み合わせに、子ども達は鬼に追いかけられる子狸を心配しながらも、怖いもの見たさなのか何度も見ていました。

「体の部位の名前を知ろう」遊びでは体ほぐし遊びや、簡単な体操を取り入れて、頭、肩、お腹などリズムにのって楽しみ、小さなお友達は「いない いない ばー」で目、鼻、口など顔について学びました。



春探しは時間の流れを体で感じられる大変貴重な体験です。3月から4月の末までの色の变化（植物）、空気の変化など絵本や日々の遊びを通して言葉に置き換えていくことで子ども達は数多くの発見が出来ます。2月は自分の体の大きさ知ること空間認知の基準が出来ます。体を大きく伸ばす、小さく縮めるなど体の部位を知る遊びを体験することで多くの刺激を受けます。小さなお友達は目に見える空間で遊びます。いないいないばー遊びや、積み木を積んだり崩したりすることも空間の始まりです。



2月の絵本

「まめっこぼりぼり おにはそと」 渡辺節子・作 教育画劇

なぜ、豆をまくの？子ども達の節分への興味を誘う物語です。

「いっすんぼうし」 いしいももこ・文 福音館書店

親指ほどの小さな男の子からの目線が楽しい昔話です。

「わたしのワンピース」 にしまきかなこ・作 こぐま社

洋服作りの上手なうさぎさんの不思議なメルヘンチックなお話です。

3月の遊び

室内では… 体ほぐし遊び、季節の移り変わりを知る。

子どもたちの会話を中心に一日を始める。（レディネスタイム）

散歩では… 舞鶴公園などで草木の変化を知り興味を持つ。

製作では… はらぺこむしのマルを使った製作。着せ替え遊び。お弁当ごっこなど。

意識したい行事〈ひな祭り〉

女の子の成長と幸せを願い、「桃の節句」と言われひな人形や桃の花を飾って祝います。昔から「桃は邪気（病気などを起こす悪い気）を払う力がある」と考えられていました。また旧暦の3月3日ごろは桃の花の季節だったころから、ひな祭りには欠かせない花になりました。

二十四節季で啓蟄は「暖かくなってきて生き物が土から出てくる季節」のことです。舞鶴公園のお堀でも亀が目覚め泳いでいました。土筆が顔を出し菜の花も咲き春を感じます。お家でもご家族で春探しを楽しまれてはいかがでしょうか。

写真は光雲神社までお散歩に出かけた時の写真です。

